

青人草

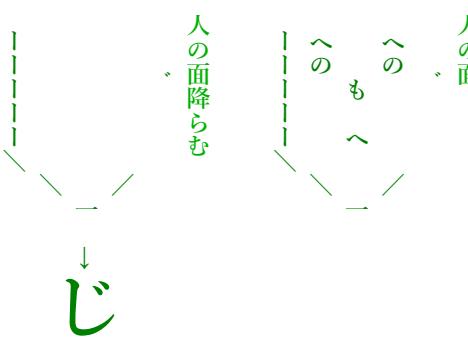
二宮尊徳

無きと言へば
無きとや人の
思ふらん
呼べば答ふる
山彦の聲

草取此炉

面降らむ

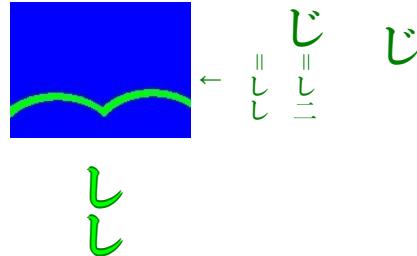
無きと言へば
無きとや人の
面降らむ
呼べば答ふる
山彦の聲



十井の色葉字

青人草

発行 つるばみ
郵番 四三八一〇〇八六
住所 磐田市見付二七八六
電話 ○五三八一三三一〇二七三
FAX ○五三八一三三一〇二七三
編者 カナ logosアmvbドbiglobeドneクjp
電信 岩田修良
アリ@ ドレスドット



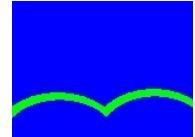
山彦の聲

おーい（自分） 大い
大い =い 大
=し、ナレ
山山
山彦

大い =い
=し、ナレ
山山
山彦

十二、ナ四

あめつち 一
ほしそら 二
やまかわ 三
みねたに 四
雲霧 五
室苔 六
人犬 七
上末 八
由王さる 九
遠不世与 十
江乃。於 十一
奈禮居天 十二
→
十二のナ॥ 奈



心眼

好望大地

奈॥三二　・大小
→
「こ」を棒・大小
||こを棒大地
||好望天地

奈四



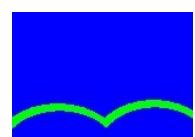
好望大地



庭の草取り

貧乏を免れんと欲せば
庭の草を取り
家屋の掃除をせよ

二宮尊徳



眼↑鳥(取)↑庭の草

心田開発॥「心田」を開いて真意を読む
心田॥十、ロ、レ、ハ
||二三、二三三三目
||二八、八十トリ眼
||庭、草→鳥→眼

心田開発

幕末

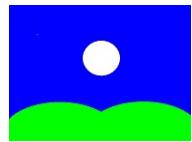
その頃はまだ

①和王は生きてゐた

②文字の離合詩も残つてゐた

③昔　　日の丸は

無歌詞の日の丸として生きてゐた



好
望
大
地